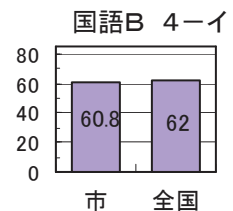
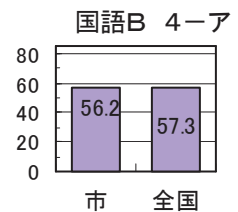
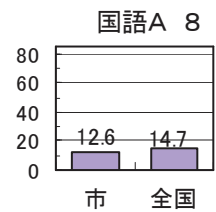
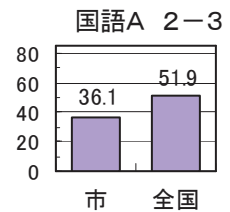
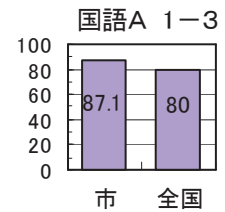


◇正答率からみた現状

	設問	出題の趣旨	市	全国	差
A	1-3	前の学年までに配当されている漢字を正しく書く。	87.1	80.0	7.1
	2-3	ローマ字で表記されたものを正しく読む。	36.1	51.9	-15.8
	8	文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。	12.6	14.7	-2.1
	9	文字の大きさや配列に注意して書く。	28.1	29.0	-0.9
B	4-ア	目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明する。	56.2	57.3	-1.1
	4-イ		60.8	62.0	-1.2



☆国語A「知識」に関する問題

○ 当該学年までに配当されている漢字の読み、当該学年に配当されている漢字の書きは、おおむね達成している。

● ローマ字で表記されたものを正しく読むことにおいては、全国よりかなり下回っている。特に、促音についての表記に課題がある。

● 接続語を使って2つの文に分けて書くことについては、全国的に見ても低い。必要に応じて適切な接続語を使って表現することに課題がある。答えの書き方に慣れていないことも影響があると考えられる。

● 文字の大きさや配列に注意して書くことについては、下回っている。目的や場面に応じ、文字の大きさや配列に注意して書くことに課題がある。

☆国語B「活用」に関する問題

● 目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明することに課題がある。

◇ 課題1 ローマ字で表記されたものを正しく読んだり、ローマ字で書いたりすること。

◇ 課題2 全体を見通して必要な事柄を明確にし、事柄の相互の関係を整理しながら接続語を使って、説明すること。

◎ 課題に関連する単元とその背景にある問題点

【課題1】 ≪A知識に関する課題≫

◇関連する単元

3年：「ローマ字」

◇背景にある問題点

▼ 身近なものではあるが、表記する機会は少ない。教科書で取り扱う時間が少ない。漢字などに比べて継続的に練習することが少ない。

【課題2】 ≪B活用に関する課題≫

◇関連する単元

5年：「目的に応じた伝え方を考えよう」、6年：「共に考えるために伝えよう」

◇背景にある問題点

▼ 普段から考えたことや自分の意図が分かるように話の組み立てを工夫しながら、話すように習慣ついていない。発表することに重きを置くことが多く、内容の検討が十分されないことが多い。

課題1の対応策

指導のねらい

- ・ 日常使われている事柄について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くことができるようにする。

授業例

教材例

3年
ローマ字

学習の流れ

- ① 身の回りにあるローマ字をさがす。
- ② 読み方のきまりを知る。(五十音表の活用)
- ③ 書き方のきまりを知る。
- ④ いろいろな事柄をローマ字で書いてみる。
- ⑤ コンピューターを使って、ローマ字で入力する。(タイピング練習)
- ⑥ 読み書きの繰り返しの練習をする。

課題2の対応策

指導のねらい

- ・ 全体を見通し必要な事柄を明確にして事柄の相互の関係を整理して話したり、自分の考えと比べながら聞いたりするために、資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりできるようにする。

授業例

教材例

6年
「市の図書館における本の借り方や返し方を説明する」を課題として設定する。

学習の流れ

- ① 課題について、実際に図書館に出掛けたり、図書館利用の手引きなどの情報を収集したりして調べる。
- ② 全校児童に市の図書館における本の借り方や返し方が明確に伝わるように話の構成を考える。
- ③ 話の構成に合わせて、適切な資料を選択したり、作成したりする。
- ④ 準備した資料を使って、本の借り方や返し方について説明する内容を発表原稿に書く。
- ⑤ 発表原稿の中で、本の借り方や返し方の流れや注意する事項などの資料を用意する。
- ⑥ 資料を黒板などに掲示しながら、説明する。
- ⑦ 聞き手は、自分の説明の仕方と比べて、助言や提案をする。

「平成21年度 全国学力学習状況調査小学校の結果を踏まえた授業アイデア例」
国立教育政策研究所教育課程研究センターより